



2024.6.1 Saturday

社会福祉法人光仁会富竹の里



## 特養 家族会 4年ぶり対面開催

今回の家族会は、特別養護老人ホームという「終の棲家で、どう生きるか」をテーマに企画。利用者の平均年齢は90歳。発熱、嘔吐、誤嚥（窒息）、肺炎等で亡くなったり、看取りとなるケースも多い。そんな利用者の体のこと、老衰にどう向き合うかなどについて、嘱託医の田中先生より、ご講演をいただいた。続いて、施設からは、ACPの推進や看取り介護についての実践を紹介。

今回の家族会は、より豊かな質の高い人生に向けて、家族と一緒に考えて、感染症で止まっていた“トキ”や“コト”を戻したい。家族との時間を一日でも多く大切にしたい。そんな思いと願いが込められていた。

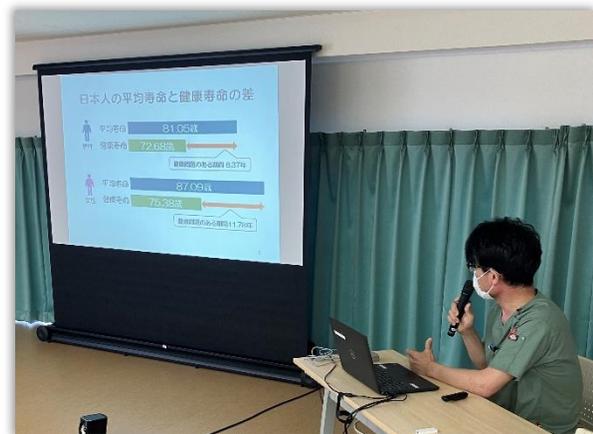
## 苦痛がなければ病気に“あらがわれない”

「特養で、終の棲家としてよりよく生きるために」と題して講演した田中先生は冒頭で、平均寿命と平均余命の違いを具体的な数字で説明。

「特養は介護が必要な中で穏やかに余命を過ごす場所」と述べた。続いて、救急搬送に至った疾病に触れ、主に誤嚥性肺炎、腎盂腎炎、誤嚥・窒息であり、誤嚥性肺炎が飛びぬけて多いことを報告。また、窒息について、「職員は気を付けて支援しているが、様々な機能低下が複合的に関与しており、防ぐことが難しい」と説明した。

また、21年からの退所者66名の死亡場所と原因、入院日数等をまとめた表を示し、回復せず、看取りで施設に戻る方が多くなってきていることに触れ、終の棲家で暮らす利用者にとって「意味のある必要な入院であったのだろうか、苦痛がなければ病気にあらがわれない」と施設での緩和的処置についても言及した。

その上で、参加者に対しては、「誤嚥性肺炎になったり、食べられなくなったらどうしますか」と問い、本人の意思や価値観が最優先に尊重されるACP（アドバンス・ケア・プランニング）の実施、本人に代わって意思決断できるよう、平均余命を意識し、最期に向けた準備をすることの大切さを呼びかけた。



## 穏やかな最期がゴール

## 2023年度の事業報告 アニュアルレポート 公開

ご家族や地域住民らに法人の事業活動を知ってもらうことを目的に2018年度から「アニュアルレポート」を作成。2023年度版をホームページに公開した。

本レポートでは、経営状況や運営報告に加え、看取り介護の発信も重要なポイントとしており、今回の家族会で実践発表した2014年から、施設で100人を看取った苦悩と葛藤、コロナ禍前に家族と取り組んだACPの推進、家族が3週間泊まり込んで看取ったエピソードなどをまとめた15分間の動画もYouTubeから視聴できる。看取りの詳細を積極的に発信することで、入所する前から利用者本人や家族の人生設計を考えるきっかけづくりにしてもらいたい。

ホームページアドレス (URL) <http://tomitake-carenet.com>



HP

動画

Disclosure  
情報開示ANNUAL  
REPORT  
2023

アニュアルレポート

## 令和6年度第1回 家族会アンケート結果

### 1. 今回の家族会について、あてはまるものを選択してください

良かった(100%)      普通(0%)      良くなかった(0%)

### 2. 1を回答した理由をお聞かせください

- 現状をお聞かせいただいたから。
- いつも考えている事だったので。
- 田中先生の方針が確かめられてよかったと思います。看取りにもいろいろあると、改めて知りました。わたしも命が終わるときは、こんなかたちがいいなと思いました。ありがとうございました。今日、面会の際の反応の良さにびっくりしました。これからは、なるべく面会に行こうと思いました。早く予約なしの面会ができることを願ってます。
- 自分の覚悟の背中を押してもらえた気がします
- 初めて家族会に参加させて頂きました。嘱託医の先生と特養のスタッフさんの看取りについての姿勢・考え方・具体的な取り組みを拝見して大変感動し、もし私の親だったら…と考えたら涙が出てきました。自宅では到底真似できない手厚い看取りを、特養で自分の家族がしていただいたらどんなに幸せだろうと思うと、特養のイメージが大きく変わりました。高齢者の施設は社会復帰を目指す所ではなく、人生最後に、誰もが自宅で最後を迎えたいと願いながら自宅で暮らせなくなってしまった高齢者がお世話になる終の棲家。そんな特養がこのような指針で真摯に取り組まれていることに、心から感謝申し上げます。また、外出についても家族だけでは難しい場合はお手伝いしますので遠慮なく相談して欲しい、とおっしゃったスタッフさんの力強いお言葉も、本気で取り組まれているんだと感じ、若いスタッフさんのパワーを感じました。出席させて頂いて良かったです。サービス担当者会議も声をかけていただければ喜んで参加させて頂きます。よろしくお願い致します。
- 本人が望む形で最期を迎えるためには家族の看取りケアへの理解が不可欠であると思います。今回のように勉強の機会をいただいたことで、今後起こり得る変化への心構えができるだけでなく、家族として何をすべきかを考えさせられました。施設の取り組みや、担当職員さんの顔、名前が分かったのも良かったです。
- 「富竹の里」での看取りの仕方考え方が理解出来て共感出来ました
- 初めて参加させて頂きました。色々知れて良かったです。
- 初めての参加で、『家族会』と言う名称のイメージしていた事とちょっと違っていました。内容は素晴らしく、とても有意義な時間を過ごさせて頂きました。改めて、ここ『富竹の里』にお世話になる事ができた幸運に感謝です。スタッフの皆様本当にありがとうございます。頭が下がります。これからも、母のことよろしくお願い致します！

### 3. 次回の家族会で取り上げてほしいテーマがあればお聞かせください

- いろいろな食事形態があるので、実際に食べることでできる機会があればよいと思います。
- 特養でのレクリエーションがあるなら知りたいです。静かに過ごしたい方も多くおられると思うので、もし行っているレクリエーションがあれば教えてください。
- 入所者と家族とでレクリエーションのような事をしてみたいです。
- 今回参加できなかったご家族もいらっしゃるの、同じような内容を継続的にやっていただければご家族の理解が深まると思います。
- 認知症の親と面会時の会話とベストな接し方
- 何か取り上げて欲しい事がありましたら面会の際にでも相談いたしますね。